



実践団体・プラン基本情報

必要に応じてセル（表の枠）の高さを調整していただいて構いません。

ただし「**実践団体・プラン基本情報**」全体で**4ページ以内**に収めてください。

実践団体の基本情報

| | |
|--|---|
| 記入日 | 2026年1月9日（2025年度のチャレンジプラン） |
| プラン名 | 防災教材となる新しい震災アーカイブの開発 |
| 実践団体名 | 白山手取川ジオパーク推進協議会 |
| 代表者名 | 会長 |
| 電話番号 | 田村 敏和 |
| メールアドレス | geopark@city.hakusan.lg.jp |
| 実践団体の説明 団体の来歴や特徴などを書いてください | 石川県白山市全域をエリアとする白山手取川ジオパークを運営し、保護保全をはじめ、教育や観光にジオパークを活用した活動をおこなっています。 |
| 所属メンバー お名前やご所属、役割などを差し支えない範囲で書いてください | （共同制作者）糸魚川ジオパーク協議会、佐渡ジオパーク推進協議会、苗場山麓ジオパーク振興協議会、一般社団法人立山黒部ジオパーク協会 |
| 活動の本拠地 団体の事務所の所在地や居住地など記入してください。正確な住所でなく「〇〇校区・〇〇自治会」などでも構いませんが、少なくとも「〇〇都道府県〇〇市町村」などの自治体名は入れてください。 | 石川県白山市倉光二丁目1番地 |
| 活動開始時期・結成時期 | 2011年 |
| 過去の活動履歴・受賞歴 これまで行ってきた活動や受賞歴（チャレンジプラン以外も含む）をご記入ください | |

プランの基本情報

| | |
|--|-------------|
| プランでの実践主体 プランを実践した人の主な属性 複数選択可です。該当しないものを削除し該当するものを残してください。その他には具体的に記入してください。 | 5. 国・地方公共団体 |
| プランの運営側の人数（実数） | 7人 |



| | |
|---|--|
| <p>プランの活動地域</p> <p>今回のプランで活動をした地域を記入してください。正確な住所でなく「〇〇校区・〇〇自治会」などでも構いませんが、少なくとも「〇〇都道府県〇〇市町村」などの自治体名は入れてください。オンラインによる全国発信・世界発信などがある場合には、その旨も書いてください。</p> | <p>石川県白山市ほか（制作したウェブサイトは全国向けに公開する）</p> |
| <p>プランの防災教育の対象者</p> <p>防災教育の対象者の主な属性</p> <p>複数選択可です。該当しないものを削除し該当するものを残してください。その他には具体的に記入してください。</p> | <p>20. 全ての人々</p> |
| <p>防災教育の対象者の人数（実数）</p> | <p>サイト閲覧者に加えて教育利用によりさらに人数は増えるため実数把握不能</p> |
| <p>プランが対象とする災害</p> <p>プランが対象とする災害</p> <p>複数選択可です。該当しないものを削除し該当するものを残してください。その他には具体的に記入してください。</p> | <p>1. 地震 2. 津波 3. 風水害 4. 土砂災害</p> <p>8. 火災</p> |
| <p>プランの活動目的</p> <p>プランの主な活動目的</p> <p>複数選択可です。該当しないものを削除し該当するものを残してください。その他には具体的に記入してください。</p> | <p>1. 防災意識を高める</p> <p>3. 防災に関する知識を深める</p> <p>6. 災害に強い地域をつくる 7. 災害対応能力の育成</p> <p>8. 防災に役立つ資料・材料づくり</p> |
| <p>対象者が身につく知識・技能等</p> <p>プランの対象者が身につけることができる知識・技能等</p> <p>複数選択可です。該当しないものを削除し該当するものを残してください。その他には具体的に記入してください。</p> | <p>1. 地震・津波・火山災害</p> <p>3. 災害時に発生する課題・影響</p> <p>4. 過去の教訓が教える対応策</p> <p>6. 平時に行う被害を出さないための備え</p> <p>7. 災害発生時に身の安全を確保するための行動</p> |
| <p>プランの活動形態</p> <p>プランの主な活動形態</p> <p>複数選択可です。該当しないものを削除し該当するものを残してください。その他には具体的に記入してください。</p> | <p>17. その他（具体的に：ウェブサイト制作）</p> |
| <p>プランでの連携先</p> <p>プランで連携した相手の属性</p> <p>複数選択可です。該当しないものを削除し該当するものを残してください。その他には具体的に記入してください。いない場合には</p> | <p>1. 学校・教育関係</p> <p>7. それ以外の地域組織</p> <p>15. 学術組織</p> |



| | |
|--|-----------|
| 「いない」を残してください | |
| <p>実践にかかった金額</p> <p>チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください</p> <p>具体的金額を記入するか、選択肢から<u>該当しないものを削除し該当するものを1つ残す</u></p> | 550,000 円 |

プランの年間活動記録

| | 打ち合わせなど | 調査・ヒアリング | サイト設計・コンテンツ制作 |
|-------|-------------------|---|------------------------------|
| 4月 | 定期ミーティング | 令和6年能登半島地震の既存アーカイブ調査・分析、既存アーカイブ構築関係者ヒアリング | サイト構築仕様の検討、制作ベンダーの選定 |
| 5月 | 定期ミーティング | 教員ニーズヒアリング、外部関連サイト調査 | コンセプトと構成検討、仕様検討 |
| 6月 | 定期ミーティング | サイトコンテンツ情報収集 | コンセプトと構成検討、仕様検討 |
| 7~10月 | 進捗確認・素材提供、コンテンツ確認 | 5地域連携による独自情報・素材の収集 | 原稿等作成、写真素材収集、サイトデザイン校正 |
| 11月 | 原稿・コンテンツ内容確認 | 教育委員会・自治体関係各課との普及に向けた先行協議 | コンテンツ制作、普及に向けた調整 |
| 12月 | サイトデザイン校正、運用体制確認 | 連携大学による学術監修、教員による授業活用視点での検証 | フィードバックに基づく内容修正 |
| 1月 | サイト内容確認 | | フィードバックに基づく内容修正、権利確認、サイト公開 |
| 2月~ | | | 教育現場・一般利用者への普及活動実施、内容の継続的な更新 |



実践したプランの内容

必要に応じてセル（表の枠）の高さを調整していただいて構いません。

複数の実践についても、該当するセル内に簡潔にまとめて記載してください。写真や図表等を入れてもかまいません。ただし「実践したプランの内容」全体で10ページ以内に収めてください。

| | |
|---|---|
| <p>プラン全体の概要</p> <p>どのような目的のプランか、どのような方法でどのような成果が得られたのかについて、200字～600字程度で記載してください。</p> <p>写真や図表を入れても構いませんが（文字数には含みません）、特徴的なもの2～3枚程度にしてください。</p> | <p>令和6年能登半島地震の経験と教訓をもとに、10年後の地域を担う子どもたちや地域住民が、自ら住む土地の特性を理解し、主体的に備え・行動できる「災害に強い地域社会」をつくることを目的としています。震災の記憶を風化させずに次世代に継承し、全国から広くアクセス可能な情報基盤を構築するため、震源域周辺の5つのジオパークが連携し、教育現場での活用を想定した「防災教材型震災アーカイブ」を共同制作しました。</p> <p>制作にあたっては、学習指導要領に基づき小学校3年生から中学校1年生の授業での活用を想定し、教員や既存アーカイブ構築関係者へのヒアリングを通じて「簡潔な説明と深掘りできる仕組みの両立」や「学年・教科ごとの活用箇所の明示」といった現場の具体的なニーズを反映させました。また、学術委員による科学的監修や、被災者感情に配慮した独自の写真掲載基準を設けることで、信頼性と倫理性を両立した「既存コンテンツのハブとなる防災教材」を構築しました。</p> <p>これにより、令和6年能登半島地震の被害状況や教訓を単なるデータベースとしてではなく、防災教材としての利用に適した形式で整理・集約することができ、記憶の継承と未来の被害軽減を両立させる、地域に根ざした新しい情報発信のモデルの1つとなりました。</p> |
|---|---|



プランの「チャレンジ」の結果

プランにおいて「何がチャレンジ」なのか、1年間の活動でそのチャレンジがどのような結果・成果を生み出したかについて、200字～600字程度で記載してください。

写真や図表を入れても構いませんが（文字数には含みません）、特徴的なもの2～3枚程度にしてください。

本プランでのチャレンジは、従来の被災状況を記録するデータベースとしての震災アーカイブの枠組みを超え、教育現場での活用に重点を置いた新しい震災アーカイブを制作することです。単なる被害写真やデータの記録にとどまらず、地震や関連災害のメカニズムと地域特性の解説、令和6年能登半島地震から得られた教訓や災害への備え、災害の要因である自然現象がもたらす恵みの側面などを、教育現場での使い勝手を考慮しながら一体的に解説することが具体的なチャレンジ内容です。

活動の成果として、ジオパークのネットワークを活用し、震源域周辺のジオパークでの共同制作という形で知識・ノウハウを共有しながらアーカイブ内容の検討を行なうことができました。また、教育関係者、学術委員や既存アーカイブ構築関係者にネットワークを活かしヒアリングを行ない、多様な視点からの知見を活かしながら、アーカイブの制作を行ないました。

この1年間の取り組みにより、本アーカイブは、令和6年能登半島地震の記憶を継承するだけでなく、地域住民が災害についての知識を身に着け、住んでいる地域の特性に応じた災害への備えを促す防災教材としての役割も担うものとなりました。



※画像は開発中のものです



| | |
|--|--|
| <p>実践内容・方法・成果</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください。どのような成果が得られたのかについてもまとめてください。写真や図表を入れても構いません。</p> <p>このセルの字数制限、写真・図表枚数制限はありませんが、「実践したプランの内容」全体で10ページ以内に収めてください。</p> <p>実践が複数になる場合には、それぞれについてこのセル内に簡潔にまとめて記載してください。</p> | <p>1.実施体制</p> <p>【震源域周辺ジオパークとの共同制作体制】</p> <p>サイトは、震源域周辺の5つのジオパークで共同制作する体制をとりました。プラン開始当初から月1回程度、計5回のオンラインミーティングを実施し、作業分担（ヒアリングや情報収集など）や作業進捗の管理、サイト構成の協議を重ねてきました。サイト構成が決定した後は、メールベースでのやりとりに移行し、原稿等の確認作業や合意形成を行ってきました。この連携体制により、各地域の多様なノウハウや視点を取り入れながらサイトを制作することができました。</p> <p>2.ヒアリング</p> <p>【教員へのヒアリング：サイトに求める要素】</p> <p>学習指導要領の内容に基づき、小学校3年生から中学校1年生の授業での活用を想定し、現職・元教員の方にサイトに求める要素のヒアリングを実施しました。ヒアリングは共同制作ジオパーク全体で実施し、教育環境の異なる様々な地域から意見を収集しました。ヒアリングの結果、「情報量を絞った簡潔な説明と深掘できる仕組みの両立」や、「学年・教科ごとの活用箇所の明示」といった教育現場の具体的なニーズを把握することができました。</p> <p>【既存アーカイブ構築関係者へのヒアリング】</p> <p>既存アーカイブの構築に携わった大学関係者に対し、アーカイブの長期的な活用とメンテナンスや本プランへの助言などのヒアリングを実施しました。その結果、「他サイトとの差別化（ジオパークとしての独自性）」、「ページ内で完結する学びではなく興味を持って深掘できる余白を残す」、「被災者の証言における事実と教訓の意識的な区別」、「内</p> |
|--|--|



容の継続的な更新」などのアーカイブの質を高め長期的に使い続けてもらうために必要な指針を知ることができました。

3.サイトの設計・制作

【サイトコンセプトおよびサイト概要決定】

一連のヒアリング結果をもとにサイトコンセプトを検討し、サイトコンセプトを「既存コンテンツのハブとなる防災教材」に決定しました。サイト内では、被害状況、災害メカニズムと地域特性、備えについて解説しつつ、情報量をあえて簡潔に絞り、より詳細な情報は豊富な外部サイトへ誘導する構成としました。これにより、サイトの読みやすさを高めつつ、利用者が自発的に深掘りできる構造としました。また、ジオパークならではの要素として、過去に起こった災害の痕跡を紹介する「訪れる」の項目、災害を引き起こす自然現象がもたらす恵みの側面を紹介する「暮らす」の項目を設置しました。

【コンテンツ制作】

共同制作ジオパークが協力して外部リンクや独自素材などの情報を収集し、それらの情報を統合しながらサイト原稿や災害痕跡マップを作成しました。

写真は共同制作ジオパークや学術委員として連携している大学から収集し、可能な限り既存サイトで使用されていないオリジナルの写真を選定することでサイトの史料価値を高めました。

また、写真掲載にあたっては被災者感情へ配慮し、独自の選定基準を設けました。被災家屋は個人の特定を避けるため原則として「引きの画角」を採用し、人物が映り込む素材にはデジタルアーカイブ学会の肖像権ガイドラインを参考にマスキングを施すなどのルールづくりを行ないまし



| | |
|--|--|
| | <p>た。</p> <p>4.内容確認</p> <p>【学術監修】</p> <p>サイト原稿等の内容が固まった段階で、連携している大学の学術委員により、科学的な正確性や誤解を招く表現がないかチェックを受け、サイトの信頼性を担保しました。そのほか内容や構成に関するアドバイスもいただき、サイト内容を修正しました。</p> <p>【教員サイト内容確認】</p> <p>作成したサイト内容を、初期ヒアリングに協力いただいた教員・元教員に再度確認いただきました。これに基づいて、授業での活用を想定したコンテンツとなるようサイト内容を修正しました。</p> <p>5.普及</p> <p>【普及方法の検討】</p> <p>教育現場への普及策として、ジオパーク関連自治体の校長会での紹介に加え、県教育委員会を通じて各自治体へ周知を図る調整を進めています。また、児童生徒が使用する個人用 PC の「おすすめ教材リンク」への配置や、自治体発行の社会科・理科の副読本への掲載など、日常的な学習環境に組み込まれるための調整を進めています。一般利用者向けには、全国のジオパークネットワークを活用した広範な発信を検討しています。</p> |
|--|--|

プランにおける工夫：プランを実践する上で、下記について具体的に工夫をしたことはありますか。

該当するものについて具体的な例を挙げながら記入をしてください。

この項目は任意項目であり、全てを埋める必要はありません。当てはまるもののみ記入してください。

| | |
|--------------------------|--|
| 1. 【準備段階】 <u>運営側の担当者</u> | |
|--------------------------|--|



| | |
|--|---|
| <p><u>を決める際の工夫</u> 例：役割分担を明確にした</p> | |
| <p>2. 【準備段階】 <u>地域のキーパーソンと連携する際の工夫</u> 例：自治会と連携をした</p> | |
| <p>3. 【準備段階】 <u>運営側を組織化する際の工夫</u> 例：協議会を作った</p> | |
| <p>4. 【準備段階】 <u>対象者や対象地域の範囲を決める際の工夫</u> 例：活動範囲を限定した</p> | <p>防災教材としての対象者を決める際に、学習指導要領の内容に基づき、学年および教科を決定した。</p> |
| <p>5. 【準備段階】 <u>準備時間を確保する際の工夫</u> 例：定例の打ち合わせを設けた</p> | <p>共同制作ジオパークで、進捗確認等の定例オンラインミーティングを実施した。</p> |
| <p>6. 【準備段階】 <u>活動場所を確保する際の工夫</u> 例：公民館などを無料で使用した</p> | |
| <p>7. 【準備段階】 <u>活動資金を確保する際の工夫</u> 例：自治体の助成金に応募した</p> | |
| <p>8. 【準備段階】 <u>知識や情報を収集する際の工夫</u> 例：専門家による勉強会を開いた</p> | <p>複数ジオパークで連携することで、多様なノウハウや知識を共有した。また、ヒアリングや情報収集において、分担して実施することで広く情報を収集できた。</p> |
| <p>9. 【準備段階】 <u>教育・訓練プログラムや教材を作成する際の工夫</u> 例：webサイトを引用した</p> | <p>教育現場のニーズを反映し、情報量を絞った説明の記載と豊富な外部サイトのリンクを設置した。</p> |
| <p>10. 【実行段階】 <u>経験豊富なアドバイザーを確保する際の工夫</u> 例：実行委員に助言を求めた</p> | <p>ジオパークのねっとわーくを活用し、既存アーカイブの構築に携わった方や連携している大学に助言を求めた。</p> |
| <p>11. 【実行段階】 <u>地域の理解を得</u></p> | <p>連携するジオパークごとに関係する自治体および教育委員</p> |



| | |
|---|---------------------------------------|
| <p><u>て関係機関と連携する際の工夫</u></p> <p>例：行政・自治会等と共催した</p> | <p>会などに声かけした。</p> |
| <p>12.【実行段階】<u>活動時間を確保する際の工夫</u></p> <p>例：総合学習の時間に実施した</p> | |
| <p>13.【実行段階】<u>活動経費をなるべく抑える際の工夫</u></p> <p>例：必要物品を消防署から借りた</p> | <p>既存のジオパークのホームページサーバーを利用した。</p> |
| <p>14.【実行段階】<u>他の実践団体と交流する際の工夫</u></p> <p>例：中間報告会でプログラムを紹介してもらい共有した</p> | |
| <p>15.【継続段階】<u>後任者を育成する際の工夫</u></p> <p>例：若手を入れた</p> | |
| <p>16.【継続段階】<u>活動で得られた知識・経験を、かたちにまとめる際の工夫</u></p> <p>例：引き継ぎ書を作った</p> | |
| <p>17.【継続段階】<u>活動の成果を外部に発信する際の工夫</u></p> <p>例：web サイトで発信した</p> | |
| <p>18.【継続段階】<u>活動内容を見直す際の工夫</u></p> <p>例：振り返りの会を開催した</p> | <p>連携する各ジオパークでそれぞれがサイトの内容などを確認した。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>今後の活動予定・今後の展開</p> <p>今後の活動予定や、このプランの今後の展開について、200字～600字程度で記載してください。</p> <p>写真や図表を入れても構いませんが（文字数</p> | <p>本プランを通じて制作した震災アーカイブは、サイトの完成をゴールとするのではなく、今後の長期的活用と内容のブラッシュアップの積み重ねによって価値を発揮するものと考えています。まず、現在調整を進めている教育委員会</p> |
|--|---|



| | |
|--|--|
| <p>には含みません)、特徴的なもの 2~3 枚程度にしてください。</p> | <p>や校長会を通じたサイト普及を着実に実行し、学校個人用 PC へのリンク配置や副読本への掲載等を通じて、児童生徒が日常的に本サイトを活用できる環境を整えていきます。あわせて、教育現場からのフィードバックを継続的に収集し、よりよい防災教材へとブラッシュアップしていきます。また、長期的に活用されるアーカイブになるためには、サイト内容の更新が不可欠であるため、適宜内容を更新し運用していきます。これらの活動を通じ、本サイトが地域に深く根ざした防災教育として、未来の子どもたちにとって最も身近な防災教材となり、地域の防災力を高めることを目指していきます。</p> |
|--|--|

この項目は任意項目です。当てはまるものがあれば記入してください。

| | |
|--|--|
| <p>その他（PRポイントなど）</p> <p>これまでのセルで書けなかった内容などについてもしあれば記載してください。</p> | |
|--|--|

チャレンジプランを実践しての感想・実行委員会等へのご意見

この項目は審査対象になりません。

任意項目ですので、当てはまるものがあれば記入してください。

| | |
|---|---|
| <p>チャレンジプランを実践しての感想・想い</p> <p>チャレンジプランを実践して、どのような感想・想いがありますか。率直なお気持ちなどを教えてください。</p> | <p>本プランを通じて、令和 6 年能登半島地震の震源域周辺のジオパークで連携し、一つの形を作り上げられたことに大きな手応えを感じています。震災の記憶を次世代へ継承することと、防災教材としての実用性を両立させるというコンセプトのサイトを制作してきたなかで、私自身もたくさんの学びを得ることができました。</p> <p>しかし、サイトの完成はゴールではなく、10 年後の地域を担う子どもたちにとって最も身近な防災教材となるためには、これから先いかに長く使い続けてもらうかが重要と考</p> |
|---|---|



| | |
|--|--|
| | <p>えています。今後も普及活動を行なっていくとともに、内容を更新し続けて、地域に根ざした「長期的に活用されるアーカイブ」として運用していきたいと思っています。</p> |
|--|--|